



まちにダイブだ!

リノベーションスクールは、不動産の再生を通じて、
まちの新しいビジネスを生み出し、エリアを再生する実践の場です。

〔リノベーションスクールによる空間資源を活用した人材育成と地域再生事業〕

1/ 人材育成×地域再生 ＝リノベーションスクール

これまでのスクール開催実績

7回



実際の案件を入念にリサーチし考える



専門家やオーナーを目前に行う公開プレゼン



物件とエリアについて意見をぶつけ合う4日間

2/ 生まれ変わるまちと人



13件

Before



After



スクールから生まれ、実現したリノベーション案件は13件(2014年現在)にのぼる。遊休ストックの活用により北九州市小倉エリアを中心に、雇用者数、通行者数は回復の兆しを見せ始めている。

通行量の変移
+3,215人
(平成22年～平成26年)

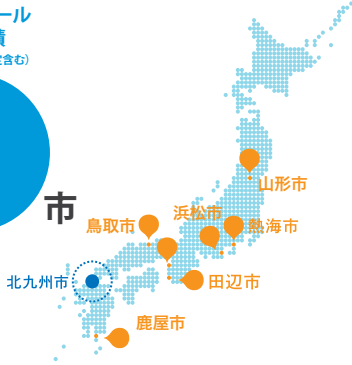
新規雇用者数
320人
(平成26年10月時点)

11,006人→14,221人
(魚町銀天街百万両前・平成26年度8月調査)

3/ 欲しい暮らしは自分で作ろう

他地域スクール
開催実績
(2014年現在、予定含む)

7市



自身の住むまちでのリノベーションスクール開催希望の声が届き始め、これまでに4都市でリノベーションスクールが開催された。2014年度中に、さらに3都市でリノベーションスクールが開催される予定となっている。

「住むまちを豊かにしたい。」豊かな暮らしを手に入れるノウハウを手にした人材が全国で活躍し始めている。

受賞候補者	
徳田 光弘	(リノベーションスクール代表・一般社団法人リノベーションまちづくりセンター代表理事九州工業大学准教授)
梯 輝元	(北九州リノベーションまちづくり推進協議会会長)
清水 義次	(株式会社アフタヌーンサティティ代表取締役)
嶋田 洋平	(株式会社北九州家守舎代表取締役)
松永 安光	(一般社団法人HEAD研究会代表理事)
大島 芳彦	(一般社団法人HEAD研究会リノベーションTF委員長)

リノベーションスクールでは、小倉魚町の実際の空き物件(遊休不動産)を対象に、市内はもちろん、全国から集まったさまざまなバックグラウンドを持つ受講生たちが「ユニット」とよばれる10人程度のチームを組み、建物とまちの未来を考える。受講者は4日間でリノベーションの事業プランを練り上げ、最終日には遊休不動産のオーナーに事業プランを提案、スクール後は民間まちづくり会社である株式会社北九州家守舎が中心となり実事業化を目指す。

単体の建物の再生を超えて、どうすればその建物の建っているエリアの価値を上げ、地域を生まれ変わらせる事ができるのかを真剣に考える。



2014年度 都市住宅会社